

補正予算の主なもの



	歳出（歳入）	内 容
東京オリンピック パラリンピック 事業	(563,000 円)	セレモニー開催等にか かる県からの補助金
被災者支援 総合交付金事業	(9,811,000 円)	震災の記録伝承のため のワークショップ開催等 にかかる国からの交付金
鳥獣被害防止総合 対策交付金事業	471,000 円	有害鳥獣駆除活動に 対する補助金

震災の記録伝承事業にか
かる国からの交付金、

有害鳥獣駆除活動に
対する補助金等により、

全体で約1億703万円を追加

オリンピック・パラリンピック

セレモニー開催にか
かる補助金

東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレー、2日目のスタート地点に本市が決定したことによるセレモニー等にかかる費用の2分の1である56万3,000円を県からの補助金として計上するもの。

議員

セレモニーの内容及び、どのような準備を行っているのかを問う。

市

来年3月27日の聖火リレーで本市をスタートする15分前のセレモニーで、太鼓や吹奏楽などの演出を考えている。相馬市のゴール地点でも、同じような式を行うことを考えている。

震災の記録を後世に伝承

心の復興事業に対する交付金

中村東部地区住民からの要望を受け、沿岸地域の津波の記録などを後世に伝承するためワークショップを開催する心の復興事業で、国からの交付金981万1,000円を計上するもの。

議員

この事業に磯部地区も含めるべきと考えるが、事業内容の詳細を問う。

市

この事業はソフト事業であり被災者の方が地域住民と交流し、体験などを語り合っ

前に生活していく為の手助けが目的である。

事業期間及び事業内容は、10月以降に10回程度のワークショップとジオラマ製作で、3月に終了する予定である。なお磯部地区については、慰霊碑周辺整備の協議の中で、ジオラマではなく、パネルのようなものを作るという話になっている。

タヌキ、ハクビシン、カラス

有害鳥獣駆除にかかる補助金

鳥獣被害防止総合対策交付金事業の採択が決定し、事業に対する市の負担分と、これまで無償駆除のタヌキ、ハクビシン、カラスに対し、駆除補助金を実施隊に交付するため、47万1,000円を増額するもの。

なお、タヌキ、ハクビシンについては1頭2,000円、カラスについては1羽1,000円を補助するものとしている。



議員

有料となった理由を問う。

市

当市においては、有害鳥獣は二ホンザル、イノシシ、タヌキ、ハクビシン、カラスの5種類を認定しており、これまで二ホンザル、イノシシについては、駆除したものを買い上げている。タヌキ、ハクビシン、カラスについては実施隊の駆除活動の一環の中で、対応しているが、近年、イノシシの檻罠等にタヌキがかかることが増えており、その処分については手間等の負担から、放獣している事例もあった。

市としては駆除しないことに支障が出ることから、手間賃を補助するものとした。

なお、本年度予算としては、タヌキが50頭分、ハクビシンは10頭分、カラスについては50羽分で計上し、総額17万円分になる。